

事例 3 治山事業でのドローンによる資材運搬の効率化

(四国森林管理局 嶺北森林管理署)



- ・徳島県^{みよし}三好市 民有林直轄治山事業箇所
- ・(左)現地検討会の様子(令和 6(2024)年 4 月)
- ・(右)資材を運ぶ大型ドローン(令和 6(2024)年 4 月)

山地災害からの復旧工事は、急峻な箇所での工事が多く、作業員の安全確保や省力化が重要です。

嶺北森林管理署は、平成 30 年 7 月豪雨により被災した徳島県・高知県にまたがる吉野川上流地区民有林直轄治山事業において、効率化や安全性向上を目的として、受注者と共同で現場吹付法柰工[※]の資材運搬に大型ドローン(最大積載量 40 kg)を試行的に活用するとともに、活用の効果や課題を検証するための現地検討会を開催しました。

この検討会には、国土交通省、地方公共団体、事業体等から 67 名の職員が参加し、高低差 90m の作業現場上方への工事資材運搬や、資材を吊り上げた際の機体の揺れを抑制するスイングコントロール機能の実演を見学して、その有効性や安全性を確認することができました。参加者からは、「自動で運搬できることや設定した位置との誤差がわずか数センチであることに驚いた」、「山腹斜面は障害物があることが多いため、吊荷の受け取り箇所付近の整備が課題」などの感想や意見が寄せられました。

同署では、引き続き関係機関と連携し、ドローン等を活用した作業の効率化や安全性向上に取り組んでいきます。